



Kさん夫妻が惚れ込んで購入したダイニングテーブル。その雰囲気は似合う家にして欲しいと三上社長と相談して大正解。



ほとんどの時間をリビングで過ごすKさん一家。奥には学習机、手前には父と息子の共通の趣味である漫画本専用の棚がある。



リビングから見上げた窓の向こうは、将来の子ども部屋。何も覆われていない部屋は、中学生になるまでのお楽しみ。



広々とした玄関はKさんのこだわり。四つ葉のクローバーの扉を開けると、すぐにリビングと2階へ続く階段がある。



### 最後の最後に運命の出会い、社長の人柄が決めました！

この地域に暮らしはじめて3年が経ち、そろそろ家を建てようと思ったKさん一家、大手ハウスメーカーが集まる展示場や工務店、30社以上も見えてまわっていた。だんだんと照準が絞られてきて、最後は、社長さんや担当者の方の人柄で選ぶように話していました。Kさん、そんな時、ある中古物件が気になる。問い合わせたのが「ハウズランド社」だ。物件を見た時、違和感を抱いたKさんに、「ここは、やめましょう」とストレートに言うてくれた三上社長。いつしか「この人に建ててもらいたい」と思うようになったという。最初にイメージしていたのは「ハウズランド社」が得意とする浮遊りの純和風の家で、Kさん夫妻の好みの家具には雰囲気は合わない。社長のすずめが洋風の家に変更。思いは十分に伝えたので、家は「プロ」に任せました。家づくりは3回建てないと言われていると言われているが、「1回目で理想の家を建てることができました」と大満足。

## 「ハウズランド社」がつくれた 小都市在住／Nさんの住まい イクメンパパの思いをカタチに 家族の絆が深まる幸せの間取り

家を建てること決めたから30社以上をまわり、「ここなら任せられる」とハウズランド社へ。職人の技術とセンスに「任した家づくりは、家族の幸せが弾むステキな間取りに！信頼から生まれた大満足の住まいがここに。」



家づくりは、まだこれから。東京を離れての新しい生活が、Kさん一家が築いた。今年生まれのヒタカちゃんも3歳。